

平成29年1月

茨城県 ナースセンターだより

Vol. 117



も く じ

1. 看護職の再就業支援セミナー（県北地域）で開催しました p2
 - ・ 復職体験者からのメッセージ
 - ・ 茨城県ナースセンター kenpoku（県北）紹介
2. 「管理者研修会」「セカンドキャリア支援研修会」を開催しました P4
3. <ナースセンターからのお知らせ> P5
4. WLBフォローアップ研修会の開催のお知らせ P6
5. 届出制度の1年間の経過 P7
6. e-ナースセンターの利用について P8

看護職の再就業支援セミナー (県北地域) を開催しました。

平成 28 年 7 月 27 日から 5 日間、①未就業者②就業 1 年未満で看護技術に不安のある看護職を対象に研修会を開催しました。

講義研修の初日に「体験者のお話」の講座を設け、意見交換を行いました。

<復職体験者からの応援メッセージ>

- 三代智子（離職期間 5 年、平成 26 年度講義・実務研修修了、

平成 28 年 2 月から（株）日立製作所日立総合病院にて就業中）

子供の幼稚園の友達に誘われて講義研修を聴いてみようと思い参加した。講師の先生から「看護ってステキ」というお話を聴いて、実務研修もやってみようと思った。研修中に子供が体調を崩し休んだこともあり、再就業することに自信をなくし諦めたが、実務研修で体験した患者さんとの関わりが忘れられず、次年度に試用研修を行い就業に至った。

週 3 日の非常勤勤務で、この患者さんはどのような状態なのか、何故このケアが必要なのか、考えながら働いている。口腔ケアが好きで、どうしたら苦痛なく行えるかなど日々考えている。少しの工夫で患者さんの苦痛は軽減できると思う。

この事業を通すと、自分の希望を聞き入れてもらえるので、是非利用してほしい。

- 杉原ほづみ（離職期間 19 年、平成 26 年度講義・試用研修修了、

平成 27 年 1 月から日立メディカルセンターにて就業中）

子育ても一段落したので看護職に復帰したくなった。講義研修初日の講師の先生からの「看護ってステキ」というお話を聴いて、大変衝撃的で目の覚める思いがし、再就業への気持ちが高まった。

長い離職期間で働けるのは健診業務かと思い、通勤時間も考え今の職場を選んだ。

家事との両立は大変なこともあるが、未就業の時より、効率良く働けるようになり考え方次第だと思う。

- 田村志津子（離職期間 4 年、平成 27 年度講義・実務・試用研修修了、

平成 28 年 3 月から（株）日立製作所日立総合病院にて就業中）

他県から日立市に移住し、子供も 1 歳未満で不安があったが、市報を見て講義研修だけでもと思い参加した。聴講しているうちに実務研修を受けたくなり、実家の母に育児の協力をしてもらいながら実務研修を行った。興味のある部署を複数見学させてもらい、希望した透析室で試用研修、就業へと繋ぐことができた。初めての業務なので新人のように指導していただき、今は少しずつ出来る業務が増えてきている。

県北地区の医療施設が全く分からない私にとって、このセミナーに参加できたことはラッキーだった。このような制度は、とてもうれしいし未就業の方たちに知ってもらいたい。



<復職体験者から研修生へ質問>

Q：何故この研修に参加しようと思ったのですか。

A：未就業者

・38歳、離職期間1年

下の子供が小学生になり時間ができたので働きたいと思った。

・47歳、離職期間13年

研修のことは昨年市報で知った。迷っていたが、看護師の友人に勧められ参加を決めた。

・49歳、離職期間25年

子供が看護学生で、勉強している姿を見て刺激を受けた。現在は看護職以外の仕事をしているが、来年は看護職に復帰したいと考えている。研修内容にあるフィジカルアセスメントという言葉も知らなかったので勉強が必要だと思った。

・48歳、離職期間2ヶ月

訪問看護で働きたいと考えており、訪問看護の講義があるので参考になると思った。

<研修生から復職体験者へ質問>

Q：日々、次々とある看護業務の中で、口腔ケアに多くの時間をとることは困難だと思う。どうして、そこまでできるのですか。

A：食事が自力でできない寝たきり状態の患者に少しでも口から食べてほしいという思いを以前から持っていた。職場復帰し口腔ケアの重要性を職場の看護師から聞き、忙しい中でも患者が苦痛を伴わない方法を考え行った。少しの時間でも、その気になればできると確信し、日々奮闘している。

◆アドバイザーから一言◆

研修生からの質問に、復職体験者が答えた内容は「看護の心」そのものであり、常に患者のことを考え実践している看護師の姿勢に参加者全員が感動した場面であった。研修生の一人は、「この話は講義の中で一番刺激を受け復職したいと思ったことだった」と最終日に話してくれた。体験者の話は職場復帰への動機づけとなり、就業者にとっては自分を見つめなおす機会になったと思われる。

茨城県ナースセンターKENPOKU(県北) 紹介

今回は県北地域の相談窓口の紹介をします！

場 所： 〒317-0066 日立市高鈴町 1-4-10
(日立メディカルセンター看護専門学校内)

相談日： 水曜日・金曜日

時 間： 9:30～15:30

TEL： 070-1542-0967

相談無料



就職アドバイザー紹介



金子 美智子

私達が相談に応じます！

お気軽に相談に来てください！



塩路 宏子

茨城県ナースセンター
KENPOKU(県北)

看護の資格をお持ちの方、
看護職を目指す方など
看護に関わるあなたを全力サポート！

**就業相談
進路相談
窓口開設中**

相談日 水・金
時 間 9:30～15:30
TEL 070-1542-0967

お気軽にお入りください。

管理者等研修会を開催しました。

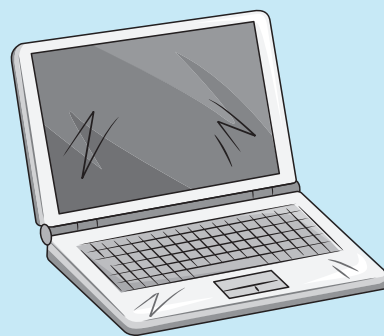
テーマ「健全な病院経営に参画する看護管理者の育成」

12月に2回にわたり、看護管理経験が概ね3年目までの医療従事者の方々を対象に、看護管理者等研修を開催しました。講師には、筑波大学の病院総務部経営戦略課専門員の池袋昌子氏と、(医)社団誠弘会池袋病院看護部長の崎田一美氏をお迎えし、「病院経営を左右する看護管理者の思考と活動」をサブテーマに、講演と演習を組み合わせた二部構成の研修でした。

第一部は、講演による「看護サービスにおける経済性」です。看護において「経済」が問われる理由や、経営目標を達成するための「マネジメントの7つの要素(ヒト・モノ・カネ・情報・時間・システム・ナレッジ)」、病院理念に向かうための「戦略・戦術の考え方と具体例」について、知識を確認し学習を深めることができました。

第二部は、厚生労働省が通知で示した「様式9(Excel表)」を用いた演習でした。「入院基本料」と「特定入院料」の施設基準の届出や日常管理に不可欠な「様式9」を使用し、「診療報酬に基づく勤務実績の評価」について習得しました。「様式9」は、患者数や看護職員の勤務状況等の情報をもとに、一つの様式の中で最大17項目もの計算を行って管理するシートです。「様式9」を活用しながら、適切な管理を行う看護管理者の役割と責務を痛感しました。

講師は、認定看護管理者の立場から、経験で培う「臨床の看護管理」と知識体系から学ぶ「理論としての看護管理」の統合について話され、参加者からは、「臨床の看護管理の基本的な知識と考え方を振り返る機会になった」、「看護管理と向き合う姿勢を学ぶことができた」、「実際の看護管理に『様式9』を活かす必要性を学ぶことができた」等の意見が多く聞かれました。



セカンドキャリア支援研修を開催しました。

看護職退職を迎える方々や退職した方に、就職や社会資源活用に関する情報を提供することにより、ライフスタイルに合わせた有意義な第二の職業生活を長く継続できることを目的に、平成28年12月20日(火)に茨城県看護協会研修室で開催しました。

研修内容は、①ハローワーク水戸 関根重行介護労働専門官による「ハローワークの業務と利用方法」、②介護老人保健施設健田 海老澤佳代師長から「介護施設等で働く看護職に求められること」、③ナースセンター就業相談員による「ナースセンターの活用について」を実施しました。

看護職21名(53歳から67歳)が受講し、受講者からは、「ハローワーク利用の動機付けとなる」ということ、「介護施設で働くことがイメージでき、今後の職業生活の参考にしたい」という感想がありました。



「ナースセンターからのお知らせ」

「第9回いばらき看護職合同進学就職説明会」開催します。

対 象 者 : 就職活動をしている看護学生及び看護職員
看護大学・看護学校等進学希望者
開催日時 : 平成 29 年 2 月 5 日 (日)
場 所 : 茨城県保健衛生会館
申し込み方法等: 詳細につきましては、ホームページに掲載します。

～ あなたの復職を応援します ～

「常陸大宮済生会病院・志村大宮病院・西山堂慶和病院で復職支援研修を行っています」

対 象 者 : 復職を考えている看護職員
3 病院のうち、興味のある病院どこでも、いくつでも参加できます。

参 加 費 : 無料

内 容 : 講義 (現在の医療・看護の状況・各施設の特徴)

参加したい施設での看護の実際

① 半日見学コース

② 1 日体験コース

申し込み方法等: 詳細につきましては、常陸大宮済生会病院ホームページをご参照ください。

皆さんの職場（看護部）をご紹介します！

求人票では、看護部の理念、雰囲気等が求職者に伝わりにくいため、今回、潜在看護職等の求職活動に役立ていただくべく、「いばらきナースステーション」と題し、茨城県ナースセンターホームページに皆さんの職場（看護部）を紹介するサイトを開設いたします。

病院等ホームページ内において、看護部紹介サイトを開設している施設がございましたら、以下のメールに URL を送信してください。

「いばらきナースステーション」サイトに URL をリンクして、茨城県ナースセンターホームページに掲載いたします。



※茨城県ナースセンターホームページ
(<http://www.ibaraki-nc.net/>)

■掲載条件

- ・茨城県内に勤務地がある医療機関、訪問看護ステーション等看護職が在籍している施設であること。
- ・看護部紹介のサイトであること。※病院のトップページのリンクはいたしません。
- ・URL リンクにあたり、必ず病院長等管理者に許可を得ていること。

■URL 送信先

茨城県ナースセンター ibaraki@nurse-center.net

平成28年度 フォローアップワークショップ 公開講座のお知らせ

ワーク・ライフ・バランス（WLB）とは、個人個人がそれぞれのバランスで仕事と生活の両立を無理なく実現できる状態のことです。

茨城県看護協会では看護職の働き続けられる職場づくりを目的に「看護職のWLB推進ワークショップ」に取り組んでおり、下記のようにフォローアップワークショップを開催します。

講義及び参加施設の取り組みや成果発表を公開講座としますので

是非ご参加ください



【公開講座日時】平成29年2月7日（火）

9:30～16:00

【会 場】茨城県看護研修センター 4階 大研修室

【施設発表】9:40～14:00

◆大久保病院・アイビークリニック・宗仁会病院

◆取手北相馬保健医療センター医師会病院・下館病院
城南病院・筑波学園病院

◆筑西市民病院・北茨城市民病院・神栖済生会病院

【講 義】14:10～15:10

テーマ：職場に活かすフィッシュ哲学

講 師：東京慈恵会医科大学附属第三病院

看護部長 五味 美春 氏

【対 象】WLBに関心のある医療関係者

【参加費】資料代 1000円 郵便振替払込み

【申し込み方法】申込用紙は各施設に送付します

看護師等免許保持者の届出制度が開始して、1年が経過しました。

■看護師等免許保持者の届出制度とは

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の一部改正により、看護職は離職時等に住所、氏名、免許番号などの事項を都道府県ナースセンターへ届け出ることが2015年10月1日より、努力義務化され、茨城県ナースセンターでは、届出された内容に合わせた支援を行い、看護職としての切れ目のないキャリアを積むことができるよう支援を行っています。

■届出の対象者

①現在勤めている病院等を退職する看護職（定年退職・転職を含む）

※「病院等」とは、病院、診療所、助産所、介護施設、訪問看護を行う事業所が含まれます。
 なお、退職時に次の職場が決まっている方も届け出の対象となります。

②看護職の免許は持っているが、保健師助産師看護師法に定められている業務以外で働いている方

※保健師助産師看護師法に定められている業務以外とは

- ・行政職 ・病院に勤務ではあるが、メディカルクラーク等事務部門で働いている方
- ・看護学校の教員 ・事務職 ・介護職 など

③現在未就業の看護師等免許保持者

■届け出の内容

- ①氏名 ②性別 ③生年月日 ④現住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス ⑦免許番号等
- ⑧就業に関する状況 ⑨職歴 ⑩離職年月と理由 ⑪復職の意向
- ⑫ナースセンターが行う無料職業紹介事業（e ナースセンター）への登録有無

※⑨～⑫は任意項目

■届出方法について

①届出制度サイト（とどけるん）から届出

パソコン・スマホから『とどけるん』へアクセスし、必要事項を入力の上、登録願います。



「とどけるん」QRコード



②郵送での届出

「届出票」に必要事項記入し、茨城県ナースセンターへ郵送してください。

※「届出票」入手方法

茨城県ナースセンターホームページ（<http://www.ibaraki-nc.net/>）の「看護師等免許保持者の届出制度」ページよりダウンロードできます。

■届出状況（平成27年10月～平成28年9月末 現在）

- ・届出者数 517名
- ・就業状況

就業中・就業予定（看護師等）	157名（32%）
就業中・就業予定（看護師以外）	39名（7%）
就業していない	135名（26%）
就業していない・求職中	121名（23%）
学生・その他	65名（12%）

e ナースセンターの利用について

e ナースセンターとは・・・

都道府県ナースセンターが行っている看護師等無料職業紹介をインターネット上に展開したものが「e ナースセンター」です。ナースセンターに直接足を運ばなくても、インターネット上で、求人・求職の登録や検索、問い合わせ、応募、紹介依頼などができます。

職業紹介以外にも、看護師等学校養成所や研修・イベントなどに関するさまざまな情報を提供しており、**全て無料**で閲覧できます。

利用方法

◎Yahoo や Google で「e ナースセンター」と検索
「e ナースセンター <https://www.nurse-center.net/nccs/>」にアクセス

スマホはこちら
からアクセス



■登録する前にe ナースセンターを試してみたい方

トップ画面の「①求人検索（体験版）」メニューをご利用ください。

登録しなくても求人検索をお試しいただけます。

注）「求人施設名」等一部閲覧できない項目があります。

■初めてe ナースセンターをご利用する方

求職者の方：トップ画面の「②求職者（看護職）の方のご登録」メニューをご利用ください。

求人施設の方：トップ画面の「③求人施設のご登録」メニューをご利用ください。

注）新規登録がお済みの方は、次回利用時には「ユーザ ID」「パスワード」を入力し、「④ログイン」してください。

■平成 27 年 4 月以前にe ナースセンターに登録されていた方及び新規ユーザ登録をお済みの方

トップ画面の「ユーザ ID」「パスワード」を入力し、「④ログイン」してご利用ください。

注）平成 27 年度 4 月以前にe ナースセンターに登録されていた方は、以前使用していた「ユーザ ID」「パスワード」でログインしてください。

◆e ナースセンタートップ画面

The screenshot shows the e Nurse Center homepage with several callouts:

- ① e ナースセンターを試してみたい方はこちら (指向求人検索(体験版))
- ② 初めてe ナースセンターをご利用する求職者はこちら (求職者(看護職)の方のご登録)
- ③ 初めてe ナースセンターをご利用する求人施設はこちら (求人施設のご登録)
- ④ ユーザ登録をお済みの方はこちら (ログイン)

注) 平成 27 年 4 月以前に登録されていた方は利用できませんので、茨城県ナースセンターまでご連絡ください。

編集
発行

〒310-0034 茨城県水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館 1F
公益社団法人 茨城県看護協会・茨城県ナースセンター (茨城県看護師等無料職業紹介所)
e-mail ibaraki@nurse-center.net
看護職員電話相談専用ダイヤル ☎ 029-221-7021
中央ナースセンター URL <https://www.nurse-center.net/nccs/>

茨城県ナースセンター
ホームページQRコード

